



< 新年のご挨拶 >

あしなみ会 会長 石川和子

あけましておめでとうございます。

新しい年を迎えて、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症は収まる傾向で、2類から5類に移行し、少しずつコロナ前の生活に戻ることができました。しかしインフルエンザの流行は例年より早くから感染が拡大してきています。

残念なことに世界では戦争が長く続き、信じられない状況が報じられています。誰もが安心して地域で暮らしていくことを願っている私たちですが、どうすることも出来ません。平和を願うばかりです。

戦争をしている国があるためか、日本でも、去年は物価が高騰し、家計のやりくりが大変でした。その上、かつて経験したことのない猛暑が秋まで続きました。

そんな厳しい状況の中、私たちは、協力し合って家族会活動が続けることが出来たことに深く感謝申し上げます。

私たちの活動が世界中の平和につながることを願って、本年も活動していければと思います。本年もどうかよろしくお願いいたします。

< 12月 あしなみ会例会 報告 >

12月16日（土）13：30～16：00、12月の例会を行いました。参加者は15名。今月も法人あしなみの横内理事長さんが参加してくださいました。

石川会長からの挨拶の後、活動の報告をしていただきました。

《各係からの報告》

自立支援協議会相談支援部会の報告

障がい者の支援はたくさんあるが、何故か、利用に結び付くまでに至

っていない。支援機関と利用を希望している人をどのように結び付けていけるのか、どうすれば、支援の種類や機関を知らせていけるのか、課題。あしすとで尋ねれば教えてはくれる。

来年度は「丸ごと相談」を立ち上げたい。部会間の連携にも取り組んでいく。とのことでした。

「精神に障害のある方の地域生活を支える訪問看護について」

講師：ハニー訪問看護ステーション 所長 柳田真久主 氏

「筋トレ」が趣味、とおっしゃる柳田さんは、救急救命士の資格を取得後、常勤で病院に勤務しながら看護師免許を取得された、とのこと。穏やかで優しい語り口に、頼りになるお人柄を感じました。

「必要な時に使えるように、精神科訪問看護について知ってもらいたい」とお話を切り出されました。「訪問看護」と聞くと、高齢者の方たちに医療処置やケアを提供する、医療に傾倒したサービスと思われる人が多いのが現状です。が、精神疾患を抱えた方々を地域で支える仕組みが少ない中、「精神特化型訪問看護」は地域での安心した暮らしを支援する役割を持っています。服薬管理、コミュニケーション、生活リズム、精神症状の観察、身体診察、家族ケア等「生活に密着した身近な相談役」といえます。

服薬管理では、ご本人の服薬に対する思いを聴くことから始まります。なぜ？のまない？のめない？飲み忘れる？服薬管理がうまくいかない原因を分析します。薬を飲むことに抵抗がある人もいらっしゃるでしょう。薬の説明を受けていないうちに治療が進んでしまい、わからないまま飲むのは嫌だなあと感じる人もいらっしゃいます。服薬を継続できるように対策をご本人と一緒に考えていくのも訪問看護の役割です。

依頼として最も多いのがコミュニケーションの役割です。家族以外の相談先を増やしたい願いに応えています。

生活リズムを整えたいと考えている方への支援は、生活のどの部分を改善したいのかを明確にすることから始めています。整理整頓を例にとってみると、整理整頓ができると忘れ物や失くしものが少なくなるなど、改善することでおこる良いことを一緒に考えます。一緒に散歩に行くこともあります。絶対にこうしたほうがいい、と押し付けることはしませ

ん。

精神症状の観察と身体診察は、必須のサービスです。訪問時には必ずバイタルを取ります。血圧、脈拍、呼吸、酸素飽和度、意識の状態を計測し観察します。不調を自ら発信できない人も多いので、変調の早期治療につながるよう早期発見に努めます。

家族へのケアもサービスの一つとして取り組んでいます。

訪問看護は、医療の視点からひとり一人の生活を見守り、ケアしてくれるサービスなのだなと思いました。では、どのような手順で利用できるのかについても説明していただきました。

訪問看護の利用までの流れ

①主治医に訪問看護を利用したいことを伝えます

先生が「訪問看護指示書」を作成してくれます。

②訪問の回数や内容を話し合います。

書面にて事業所と手続きします

料金は、自立支援医療の上限に含まれます。

③サービスの開始

サービスの内容や利用までの手続きも詳しく丁寧に教えてくださいました。



また、実際に利用されている具体例についてもいくつかお話しくさいました。ご講演の後、次々と出る質問に、先生は丁寧に答えくさいました。安心して地域生活が続けられるために、訪問看護支援の必要を改めて感じました。先生有難うございました。（桑原）

社会福祉法人あしなみにご寄附をいただき、

有難うございました。

西山 珪子 様



< 2023 チャレスポ 報告 >

11月17日（金）足立区総合スポーツセンターにてチャレンジスポーツ大会（略称「チャレスポ」）を開催しました。

チャレスポは区内のB型事業所や病院デイケア、グループホームなどの利用者が参加でき、誰でも楽しめるスポーツを通して交流を図るイベントです。昨年度に続き2回目の開催となる今年度は、各団体から利用者・職員合わせて昨年度の約2倍、74名の参加がありました。

ラジオ体操で体をほぐしたあと、それぞれがボッチャやビーチバレーボール、ストラックアウト、ラダーゲッターなど好きなスポーツを選んで、和気あいあいと楽しみました。競技の進行はボランティアの方々にお手伝いいただきました。初参加の団体もあり「楽しかった」「来年度も参加したい」といったうれしい感想をいただきました。（ふれんどりい 吉田）



< 「第42回ADACHI障がい者アート展」 報告 >

11月30日（木）から12月6日（水）にかけて、足立区障がい者週間記念事業として、ADACHI障がい者アート展が足立区役所にて開催されました。今年で42回目と、長く続く福祉イベントです。

障がいのある方が制作した絵画・書道・陶芸・手芸などの作品を展示したり、自主製品を販売したり、手話や義肢装具の体験コーナーなどさまざまな催し物が出されていました。

販売コーナーでは、萌作業所が「ふきん」や「オーナメント」などを、アトリエほっと・しかはまは「クリスマスリース」や「キーホルダー」などの販売を行いました。また、作品展示では、萌作業所は「絵画やぬり絵」など、協立作業所は「川柳」の展示を行いました。

当日は、大勢の方にご来場いただき大盛況でした。個人的には、フラッと立ち寄った方が作品を見てとても感動されていた姿が印象に残っています。皆さんの創る作品のパワーを感じました。

来年も開催された際には、ぜひ皆さんも立ち寄ってみてはいかがでしょうか。（WiZ 津澤）

協立作業所

○口で描くカレンダーは毎年素晴らしいと思いました。購入できればいいと思いました。（匿名）

○自主製品がとても素敵でした。購入出来て良かったです。（匿名）



アトリエほっと・しかはま

○平日でもお客さんが沢山いらっしゃいました。親子で来て下さって、商品を手にして、あれこれ迷っている様子が微笑ましかったです。(N)

○お客様に「こんにちは。」と笑顔で言えました。(K)



<移転プロジェクトの進捗状況 報告⑨>

12月19日に移転プロジェクト会議が開催されました。不動産屋さんからご紹介いただいた物件の他に自分たちで歩いて探した物件についても情報を共有しながら検討しました。どちらの物件も清掃現場からそれ程離れておらず、工夫すれば広さ等々の条件を満たせそうでした。今後は内覧できればと思っておりますが、費用がどれ位になるのか？ここが1番の悩みどころです。良いお話(ご縁)をいただけることを祈りつつ、今後も頑張っていきたいと思います。令和6年も引き続き宜しくお願い申し上げます。(報告：木田)

◆◆◆ トピックス ◆◆◆

<協立作業所>

12月26日にメンバー17名、職員5名でXmas忘年会を開催しました。恒例のビンゴ大会、シュークリームとお菓子を食べた後は初の試みで音楽会に挑戦！利用者の皆さんとスタッフでキーボード、ギターに合わせパーカッションを鳴らしながらみんなで歌を歌い盛り上がりました。最後は「今年の一文字」を発表し合い、皆さんの思いを共有することができました。協立の良さがたくさん詰まった1年の締めくくりになりました。(河野)

○久しぶりに歌を歌いましたがいいもんですね。次も楽しいレクでありますように。(T.R)

○皆さんで暖かい時間が過ごせました。とても楽しかったです。ありがとうございました。(鈴木庸)

○みんなとギター、ピアノ、タンバリン、歌をやってみないとやる楽しさを久しぶりに感じました。これからも協立で勉強していきたいです。(柿沼優介)

○今日の忘年会はゲームをしたり、唄を歌ったりして楽しかったです。(H.M)



<アトリエほっと・しかはま>

12月22日（金）にクリスマス忘年会を実施しました。参加者はメンバー24名、ボランティア1名、職員4名でした。今年はケーキを用意し、午前・午後に分かれて映画鑑賞（翔んで埼玉、バック・トゥ・ザ・フューチャー3）や今年を表す1文字を発表しました。最も票数が多かった字は「優」・「活」でした。どの文字も今年を締めくくる一文字に相応しく、和やかな会となりました。（鈴木）

- 映画はコメディっぽいところがあって、そこが面白かったです。ケーキも美味しくいただけて良かったです。（O）
- 楽しい映画を見て、美味しいケーキも食べることができ、何より皆さんと楽しい時間を共有できたことが良かったです。（N）



<ボンサンス・千寿>

12月はチキンが入ったクリスマス弁当を食べました。毎月恒例となっているお弁当企画ですが、今回は皆さんのリクエストをつのり、クリスマスデラックスバージョンのお弁当を作ってくださいました。さらに、デザートとして、近隣でお世話になっている商店で高級シュークリームを注文しました。衣がザクザクのチキン、鮮やかでフレッシュなオレンジ、ホイップとカスタードのシュークリームの美味しさに舌鼓をうち、お腹いっぱい幸せな気持ちになりました。（伊野）

- 特にシュークリームが美味しくて、クリスマスの雰囲気が出てよかったです。（S）
- いつもと違うメニューがあり、美味しかったです。（M）



<綾瀬スマイル工房>

12月15日（金）にクリスマス望年会を行いました。ボランティアさんからの絵本の読み聞かせやDVD鑑賞、ビンゴ大会で盛り上がりしました。お昼はみんなで美味しいお食事とケーキを楽しみました。メンバー21名、ボランティア1名、職員5名が参加しました。（坂口）

- このあいだクリ忘をしたと思ったらもう一年たってしまいました。今年のケーキ・天井 etc はとてもGood。良い一年になりますように。（I）
- クリスマス望年会は皆と巨大スクリーンでガリレオを観て食事やケーキをいただき、読み聞かせも心地よく聞けて楽しい一日でした。（O）



< 萌 作 業 所 >

12月25日、クリスマス会を行いました。4年ぶりに午前、午後と通しでの開催になりました。午前の部では連想ゲームとビンゴ、お昼はみんなで美味しいお弁当とケーキをいただき、午後の部ではハンドベル、スマホピアノ、リコーダーに合わせての全体合唱、と色々な音楽を楽しみました。14名のメンバーが参加しみんなで楽しい時間を過ごしました。
(成澤)

○スマホピアノ、選曲、演奏とてもよかったです。みんなで歌えてとても嬉しかったです。(M.J)

○ビンゴ大会で最後にあがったことがとても心に残りました。皆さんと楽しくお弁当とケーキを食べることができ、とてもおいしく幸せを感じました。(E.S)



○飾りつけや楽器の演奏などみんなすごいな、楽しんでいるなと思いました。(A.I)

< 入 職 の ご 挨 拶 >

ZiP 佐藤



皆さま、はじめまして。12月1日より ZiP に配属になりました、佐藤と申します。メジャーリーグの大谷選手と同じ、北国・岩手県出身（暑さに弱いです）です。大学進学以後都内で過ごしておりましたが足立区に関してはまだまだ初心者、新鮮な気持ちで日々を過ごしております。1日があっという間に過ぎてしまいますが、スタッフ・メンバーの皆さまにとっても助けられ、学びの多い毎日を過ごさせていただいております。初心を忘れず、感謝の気持ちを大切に努めてまいります。これからどうぞよろしくお願いいたします。

一句

- ・ 年明くる みかんの空へ 向ひ立つ
- ・ 年賀取り 扉開ければ 初御空

(馬蕉)





＜あしなみ会新年会のお知らせ＞

令和6年の幕が開きました。皆さん、新春をどう迎えられましたか。今年が良き年となりますよう、コロナで3年間も中止になっていた新年会を開催します。

まずはお食事、積もるお話、豪華景品いっぱいのビンゴゲーム、作業所自慢などお楽しみがいっぱいです。メンバーの皆さん、スタッフの皆さんもどうぞご参加下さい。揃って新年をお祝いしましょう。



日 時：令和6年1月20日（土）

場 所：ボンサンス・千寿 足立区千住4-3-9

電話：03-3881-6400

時 間：12時～15時（11時半から受け付け）

会 費：ご家族1000円 メンバーさん500円

（当日、受付にてお支払い下さい）

内 容：昼食、恒例ビンゴゲーム、作業所自慢など

申込み：090-9961-0225（桑原）

090-4752-4009（石川）

締 切：1月18日（木）午後5時まで



※インフルエンザ・コロナ感染予防のため、マスク着用、手指の消毒をお願いします。

今冬も「皿うどん・ちゃんぽん」など 販売に

ご協力ありがとうございました。



今冬も、「社会福祉法人あしなみ」のスタッフの協力により行った販売活動にご協力いただきありがとうございました。

お陰様で 66,800円 の利益がありました。この貴重なお金は社会福祉法人あしなみの就労移行支援事業所 WiZ と就労継続支援事業所 ZiP の利用者の方の通所交通費として社会福祉法人あしなみに寄付させていただきました。